

第41回外環沿線協議会 協議員アンケートご意見

【運営について】

- ・ このところ、傍聴者から「大事なことは非公開の運営懇談会で決めて、協議会は追認するだけの機関なのか？」と疑問の声をよく聞く。この日の協議会でも運営懇談会に持ち越された案件がいくつかあったが、運営懇談会は、声の大きな協議員によって振り回される一方、事業者は資料を出させて文句を言う、他の協議員が出す提案には耳を貸そうともしない、事業者は出された意見のうち都合の良い意見しか取り上げないという、大変非民主的な場である。次回の協議会にどのような報告がされるのだろうか。
- ・ この日に配布された「とりまとめ案」の参考資料にある、PI協議会の経過を見ると、必要性そのものについてほとんど議論できていないことが分かる。運営のこと、移転戸数に関する新聞記事のこと、国都の方針など。そして長時間を使用して資料説明する国都、ルールを無視して長々と話す協議員。必要性を飛ばしていつのまにか造り方の話になっていた練馬問題。PI協議会は茶番劇でしかなかったのか。
- ・ とりまとめにしても「議論の整理」としながら、意見を羅列しただけ。国都が以前作成した「みなさんの声」と何ら変わらず何の進歩もない。私達協議員は何を議論し、明らかになった点は何で、明らかになっていない点は何か、必要性を判断するために足りない情報は何かを整理し、その上で「まとめ」に入るのが筋ではないのか。事務局が偏った原案を作ると分かっているが「事務局が作るべきだ」と主張し、声の大きさを自分の都合を押し通す協議員。このような状態で作られたものが「まとめ」と言えるのかどうか疑問だ。